

世界の切手に見る消防関係の切手(10)

平 岩 道 夫 (切手評論家)



(写真①)



(写真②)



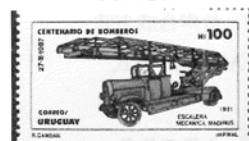
(写真③)



(写真④)



(写真⑤)



(写真⑥)



(写真⑦)



(写真⑧)



(写真⑨)



(写真⑩)

まず、写真①～⑥までの切手は、いずれもウルグアイから発行されたものである。

消防士をはじめ、消防マーク、さらに初期に使用された消防ポンプから、消防自動車、ハンゴ車にいたるまでを描いた切手。

1888年代、1907年代、1921年代など、いま一度とくに切手をご覧いただければ、年代が入っているので、おわかりになるはず。

ウルグアイでは、これらの切手のおかげで、国民に“消防”の意義を広く訴えることができ、火事の発生率が減少したとか。

さて右側、縦一列の切手4枚は、ズバリ切手左上部に国名が描かれている通り、みごとなニュージーランド発行の“消防切手”といえよう。

写真⑦は、1860年代の手動式消火ポンプを描く。写真⑧は、1880年代の二輪はしご車を描く。写真⑨は、1873年代の蒸気式消防馬車を描く。写真⑩は、1888年代の化学消防馬車を描いている。

日本でも、消防の歴史がわかるような切手が発行されるとよいのだが、いまのところそんな予定はまったくない。残念なことだ。